

作成日：西暦 2023 年 6 月 27 日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：婦人科悪性腫瘍における長期予後および臨床病理学的因子に関する疫学的研究

本研究は藤田医科大学の医学研究倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1. 研究の対象

西暦2017年4月1日より2030年6月30日までの間に、藤田医科大学ばんだね病院で婦人科悪性腫瘍（子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌・卵巣境界悪性腫瘍・卵管癌・卵管境界悪性腫瘍、腹膜癌、外陰癌、膣癌、子宮肉腫、子宮腺肉腫、絨毛性疾患）に対する治療を受けた方

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的： 婦人科悪性腫瘍は腹腔内やリンパ行性に転移を起こしやすく、予後不良の腫瘍である。また、一般的に化学療法治療が効果があると言われているものの、その効果は一時的で長期的には治療が効きにくい難治性となることが多いといわれています。

これらの婦人科疾患症例の患者さんの情報を収集し、そのデータを用いて、1) 当院における婦人科がん（子宮頸癌、子宮体癌、卵巣悪性腫瘍、卵巣境界悪性腫瘍、腹膜癌、外陰癌、膣癌、子宮肉腫、子宮腺肉腫、絨毛性疾患）の進行期・病理学的分類、2) 診断・治療内容、3) 治療成績、を解析、発表し、婦人科癌患者の医療に貢献しまた臨床研究や国際比較研究の発展につなげることを目的とします。

方法： 当院にて婦人科悪性腫瘍疾患に対して診断・治療を施行した症例を対象とする。収集する情報は次の通りであり、これらの情報をカルテより抽出して、解析を行います。

研究期間： 倫理審査委員会承認日～2033年6月30日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、進行期分類の選択（臨床進行期分類、術前治療施行例）、進行期分類、最大腫瘍径、浸潤の有無、所属リンパ節腫大の有無、傍大動脈リンパ節腫大の有無と遠隔転移の有無、術後進行期分類、組織診断、治療開始年月日、治療法、手術時所見と手術内容、術後治療、再発の有無、再発日、再発部位、再発治療内容、予後、フォローアップの日付

等

4. 外部への試料・情報の提供

ありません。

5. 研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学ばんだね病院 産婦人科発育病態医学 教授 柴田清住

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田医科大学 ばんだね病院

担当者：産婦人科・内海 史

愛知県名古屋市中川区尾頭橋 3 丁目 6 番 10

電話 052-321-8171

<企業等からの資金提供はありません、研究者の COI はありません>

この研究は、企業等からの資金提供は受けていません。また、この研究に関連する企業と研究者等との間に、開示すべき利益相反はありません。